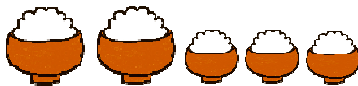




2021年10月☆23号



きゃんせ えびの通信

【発行元】えびの市移住・定住支援センター

「きゃんせ えびの通信」をご覧いただきありがとうございます。

稲穂が頭を垂れ田んぼが黄金色に染まり稲刈りの季節となりました。硫黄山の噴火以来すべての田んぼで収穫ができること喜ばしい限りです。梨、ぶどう、柿、サツマイモ、里芋などなど収穫の秋、味覚の秋でもあります。新物を味わい感謝しながら食したいものです。

当センターの2ヶ月間の問い合わせ件数は、前年比2倍増、うち市外からは2.2倍と依然高い件数を維持しています。

今回の通信では、移住・定住支援策と空き家バンクへ登録されている「空き家」物件の一部を紹介します。

また、裏面では昨年10月に移住（Uターン）し起業された女性を「移住者インタビュー」で紹介していますのでご覧ください。

【2021年7月～8月】

■センター利用の状況

問い合わせ件数・・・332件

移住者数・10世帯（17人）

■空き家バンクの新規登録状況

空き家登録数・・・8件

空き地登録数・・・2件

利用希望者登録数・・・16人

移住・定住支援策のご紹介

◆ 移住者住宅取得支援金

本市への移住者が自己の居住を目的として市内に住宅を取得する場合に、予算の範囲内においてその経費の一部を交付します。また、中学生までの子どもがいる場合は、加算金があります。

【支援金額】経費の10% ※市内業者を利用して住宅を新築又は市内業者から新規購入した場合(上限50万円)

【子育て加算金】10万円/1人(上限20万円)

※上記以外の場合(上限30万円)

◆ 移住者促進分譲地（お問い合わせ先：財産管理課 管財係）

本市へ移住を希望されている方が容易に住宅を建築できるよう、格安で分譲地を提供します。

市外者で本市に移住すること、10年間の保証金が必要など、その他にも一定の条件があります。

【川原分譲地】 ※全10区画の内、残り1区画

区画7：291.99㎡（88.48坪） 140,000円

空き家情報

No.195 <榎田>

希望条件：売却 500万円 間取り：4DK
床面積：97.96㎡ 敷地面積：1612.83㎡
駐車場：車庫無5台 農地付（約4600㎡）



No.196 <末永>

希望条件：売:350万円(要相談) 貸:3万円(敷金6万円)
間取り：7DK 床面積：157.13㎡
敷地面積：498㎡ 駐車場：車庫有2台



空き家バンク登録や、移住についての相談など、

お気軽にお問い合わせください♪

えびの市移住・定住支援センター ☎ 0984-27-3242



移住者インタビュー



ひがき かすみ
檜垣 霞さん 2020年10月 Uターン
前居住地：東京都（えびの市出身）
職 業：kkottaballoon(コッタバルーン)経営
（ラバーバルーンアーティスト）
家族構成：4人

ゆったりとした時間が流れるえびの市で、
お仕事をしてみませんか！

■ 移住のきっかけは？ コロナ第2波の流行でUターンを決意！

いつかはえびのに帰ってこようという思いがありました。東京でコロナの第2波が流行った頃に、「これからもっと感染が拡大するのでは？」と感じ、えびのに帰ろうと決めました。

■ 移住をするにあたり、心配だったことは？ 仕事面での不安

実家があった事もあり、住む場所に関して心配は無かったのですが、最初は起業するのではなく就職しようと考えていたので、自分に合った就職先が見つかるのかということが心配でした。

■ 現在、どのような暮らしを？ ラバーバルーンアーティストで起業し頑張っています！

実家の倉庫を店舗に改修し、ラバーバルーンアーティストとしてオーダーメイドでバルーンの作製をしています。休日は、えびの市にあるカフェや飲食店で、美味しい食事を楽しんでいます。

■ これまでの暮らしと変わったことは？ 時間に対するゆとりができた

東京の生活では、時間の流れをすごく早く感じていました。えびのに帰ってきて、電車での移動から車での移動に代わり、その分時間に縛られることが少なくなりました。

■ 移住して良かったこと、大変だったことは？ ゆったりした時間をすごせる

えびのは時間の流れをゆっくり感じる事ができるので、私にとってとても良かったです。仕事面では、就職するのではなく、ラバーバルーンアーティストとして起業しましたが、田舎でこの珍しい仕事ができるのか、どう広めていけばいいのかを色々と試行錯誤するのが大変だと感じました。しかし、起業支援センターという存在があり、相談できたのでとても良かったです。そして厄介なのが蚊です。蚊の対策は欠かせません。とっても刺されて大変でした。（笑）

■ “えびの”の魅力は？ 水が綺麗で美味しく、声をかけてくれる人の優しさ

やはり、水が綺麗で美味しいのが魅力だと感じます。そして、えびのの人は“やっぱり優しい”です。声をかけてくださる方も多く、えびのに移住して起業されている人からも、お話を聞けたりして嬉しかったです。

自然も豊かなので、ふとしたときに目にする美しい景色にとっても癒されています。

■ “えびの”へ移住を考える人に一言 えびのは自分のペースで働ける場所です！

えびのは自然豊かで、とってもゆったりした時間が流れています。

空いている土地が多く、家を建てるスペースも十分あり、自分のペースで働ける場所でもあると思います。

起業を考えている方は、起業支援センターがありますので、ぜひご相談されてみてください。

ちゃんせえびの
ホームページ



えびの市移住・定住支援センター

〒889-4292

えびの市大字栗下1292 えびの市役所3階

電話 0984-27-3242

メールアドレス ebino-iju@aioros.ocn.ne.jp

フェイスブック
ページ

